

東北医科薬科大学 英語

2024年 1月20日実施

【Ⅰ】

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 問 1 ② | 問 2 ① | 問 3 ③ | 問 4 ③ | 問 5 ③ |
| 問 6 ④ | 問 7 ① | 問 8 ③ | 問 9 ④ | 問 10 ③ |
| 問 11 ② | 問 12 ① | 問 13 ② | 問 14 ① | 問 15 ② |

<講評>

ウイルス・細菌への感染が睡眠の長さや質へもたらす影響について論じた英文。

問 1 : ④は Erika ではなく Thornes に関する記述であることに注意する。

問 2 : stopped testing positive と③stopped taking tests は意味が異なることに注意する。

問 6 : ④duration は the amount of time のパラフレーズとなっている。

問 11 : ①encourage は「(～に)(…するよう)励ます, 奨励する」の意なので, 目的語 non-REM sleep へ対して用いるのは不適である。

問 15 : 空所②直後の文に “that’s the same pattern reported by many people with COVID — a lot of sleep initially followed by insomnia or other disruptions while sickest” とあることに注目する。while sickest は, 空所②直前の文にある when they were most symptomatic のパラフレーズである。与えられた As symptoms eased, sleep improved. 「症状が和らぐにつれて, 睡眠も改善した」という文を②の位置へ補うことで, 「感染→睡眠障害」「快復→睡眠改善」という「パターン」を完成させ, that’s the same pattern ... の文につなげることが可能となる。

【Ⅱ】

- | | | | | |
|--------|--------|-------|-------|--------|
| 問 1 ① | 問 2 ② | 問 3 ① | 問 4 ① | 問 5 ② |
| 問 6 ④ | 問 7 ③ | 問 8 ② | 問 9 ③ | 問 10 ① |
| 問 11 ④ | 問 12 ④ | | | |

<講評>

マイクロプラスチックの人体内での検出と, 健康へもたらす影響について論じた英文。

問 4 : ①where they settle は where they might end up のパラフレーズとなっている。②では血液の循環そのものが止まってしまうことになるため不適。

問 5 : this team devised a way 「このチームはあるやり方を考案した」とあることから, その具体的内容を示した部分の直前に補えばよいと分かる。

問 7 : over 75% は more than three in every four のパラフレーズとなっている。

問 8 : サンプルの総数 22 に対し, Half of the people sampled PET in their blood とあることから判断できる。

問 9 : ①は scientific labware, ②は computer cases, ④は plastic forks のパラフレーズとなっている。

【Ⅲ】

- 問 1 ③ (→in addition) 問 2 ② (→passed on from) 問 3 ② (→inclines)
問 4 ② (→on who) 問 5 ③ (→many) 問 6 ① (→estimated)
問 7 ② (→made) 問 8 ③ (→belonged) 問 9 ④ (→What)
問 10 ④ (→your)

< 講評 >

昨年度に引き続き、ひと続きの英文を用いた誤謬指摘問題が出題された。

問 1 : ②は、先行詞が **One of the things** であると考えれば成立する。③は in addition to 「～に加えて」という副詞句にしないと文として成立しない。

問 2 : pass on ~ from A to B 「～を A から B へと受け継ぐ」の受動態である。

問 3 : 動詞 incline へ対する主語は主格の関係代名詞 which で、これは先行詞 the software を指している。

問 4 : depend on ~ に in part 「部分的には」という副詞句が挿入された形。

問 5 : cultures が可算名詞複数形であることから、much ではなく many を用いる。

問 6 : estimated 「およそ、推定上の」という形容詞。

問 7 : ranging from A to B 「A から B に至るまで」の骨組み。from bands ... ←(made up of ... families) to chiefdoms ←(consisting of ... chief) という修飾構造を成立させる。

問 8 : 動詞 belong へ対する主語は主格の関係代名詞 who で、これは先行詞 people を指している。

問 9 : 具体的選択肢を示し「どれ・どちら」と問うているわけではないので、which は不適である。

問 10 : この文において they = these questions であるので、their own conclusions という表現は意味を成さない。

【Ⅳ】

- 問 1 ⑤-⑧ (①⑥⑤③⑦⑧④②)
問 2 ⑥-⑤ (④①⑥③⑦⑤⑧②)
問 3 ⑧-⑦ (⑥②⑧⑤③⑦①④)
問 4 ③-④ (⑤⑧③①⑦④⑥②)

< 講評 >

例年通り、和文を与えられての語句整序問題が出題された。いずれもごく基本的なレベルであり、抜かりなく得点したい。

【総評】

大問構成・分量ともにほぼ昨年度からの踏襲であった。大問 I・II で例年出題されていた、下線部の日本語訳として適切なものを選ばせる問いは出題されず、すべて英問英答となった。しかし設問は素直なものが多く、大半の問いにおいて参照すべきパラグラフが明示されているため、比較的取り組みやすかったであろう。解答時間が 70 分と余裕があることから、高得点域での戦いとなることが予想される。昨年度比で易化と判断し、一次通過ラインは 70~75% 程度か。

本解答速報の内容に関するお問合せは



医学部専門予備校

YMS

☎ 03-3370-0410 <https://yms.ne.jp/>
東京都渋谷区代々木1-37-14

医学部進学予備校

メビオ

☎ 0120-146-156
<https://www.mebio.co.jp/>

医学部専門予備校

英進館メビオ

福岡校 ☎ 0120-192-215
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

メルマガ登録または LINE 友だち追加で全科目を閲覧

メルマガ登録



LINE 登録

